

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成25年度事業)

事業の概要		事業開始年度	昭和23年～	根拠法令・例規等	備前市私立保育運補助金交付規則、児童福祉法他
総合計画	大項目	基本構想	01 重点政策「教育」	問	担当課(室)
	中項目	基本計画	01 将来を担う人材が育つまち	合	保健福祉部こども課
	小項目	施策	02 就学前の教育、保育等の充実	先	職・氏名
事務事業名		02	私立保育園運営事業	先	電話
				このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	私立認可保育園及び私立認可保育園を利用する乳幼児と保護者	
目的(何のために)	生涯にわたる人間形成の基礎が培われる乳幼児期の子どもを就労等により家庭で保育できない保護者に代わって保育し、健康で豊かで人間性を持った子どもの育成に寄与する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	入園希望者に対して、待機児童数をなくすことで事業の目的を達成させる。また、保育園の充足率が上昇することによって、単位当たりのコストが下降し、効率化を図れる。	

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するための実施した事業	細事業名	私立認可保育園で乳幼児期の子どもを就労等により家庭で保育できない保護者に代わって保育するとともに、関係法令等により規定された負担割合による国県負担金を財源とした運営委託事業		○
	私立認可保育園運営補助事業	私立認可保育園の施設整備及び運営費に係る補助事業。		○

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	18,437	26,593	33,564
	必要人員	人	0.08人	0.04人	0.07人
	必要人員単価	円	754	371	692
	事業費	千円	19,191	26,964	34,256
	国県支出金	千円	7,518	13,683	20,931
	受益者負担	千円	3,184	3,689	2,361
財源	千円				
市債					
その他()					
一般財源		8,489	9,592	10,964	
受益者負担比率	%	16.6%	13.7%	6.9%	
結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	
説明		園児を確保し経営を安定させる			
結果指標量		11	15	19	
対前年比	%	-	136.4%	126.7%	
活動コスト	円	19,191,000	26,964,000	34,256,000	
単位当たりコスト	円	1,744,636	1,797,600	1,802,947	

事業の成果	成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
入園児数	入園児数	目標値(A)	20	20	20	20
		実績値(B)	11	15	19	到達目標値
		達成率(B/A)	55.00%	75.00%	95.00%	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明						
入園児数/定員数						

事務事業の評価	該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check	
妥当性の評価	市の関与の 必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	A
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度 市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い

事業の目的、意図する成果とつながる成果指標に留意しながら

進行年度 (H25年度) の改革改善内容	状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○					
	説明	委託事業については、国県市負担金を財源とした委託事業のため、今後も適正に算定し、事業を継続して行う必要がある。補助事業については、入園児数等の実績により補助する予定である。						

総合評価	総合評価	B
委託事業については、国県市負担金を財源とした事業のため、今後も適正に算定し、事業を継続して行う必要がある。補助事業については、厳しい経営状況が続き、市への依存度も高くなっているが、公私の格差を是正するため、事業は継続する必要がある。	A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い	B

平成27年度の方向性・取組目標	方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○					
	取組目標	公立保育園がない地区であるため、事業を継続して行う必要がある。						

Action